

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1017 放課後児童対策事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
基本施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	01	児童福祉総務費
		細目	217	放課後児童対策事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	放課後児童対策事業
担当部課	コード 653000 名称 阿山支所住民福祉課	担当者氏名	植田千寿恵	連絡先 43 - 0332 (内線)

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	保護者が労働等の理由により昼間家庭にいない伊賀市内に在住する小学校低学年の児童 <b>※対象件数</b>
成果(どうする)	昼間留守家庭の児童に健全な遊び場を提供でき、安全を確保することができる。
根拠法令・要綱等	伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業内容	河合小学校区放課後児童クラブ運営委員会を指定管理者として管理運営業務を行なう。活動場所は河合小学校内の許可施設で、活動日は月曜日から金曜日の下校時から午後6時30分までと第2土曜日の午前8時から午後6時30分、長期休業中は午前8時から午後6時30分まで。休業日は土曜日(第2土曜日は除く)、日曜日、国民の祝日、8月13日から15日及び12月29日から翌年1月3日まで。
社会情勢の変化等	平成21年度から、障がい児童2名の受け入れを行っている。

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	2人
3 年間運営費	2,400 千円
4 市内の類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
登録者数	登録者数	人	目標	30	目標	30
			実績	14	実績	17
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
定員に対する登録率	登録者数/定員		%	目標	100	目標	100
				実績	47	実績	57
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	1,200	1,200	2,400	2,700
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金	559	559	1,600	1,800
地方債				
その他	0	0		
一般財源	641	641	800	900
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)	1,920	1,920	3,120	3,420

### 事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を <b>60%以上80%未満</b> 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】 <b></b> 周知の徹底	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	定員に余裕がある場合は高学年の児童も受け入れている
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 河合小学校新一年生の保護者への周知

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b> 【理由】 親の就労等により、昼間留守家庭となる児童の安全・安心を確保するため、今後も継続する必要がある。
現時点における課題、その他	地域性(三世帯家庭)があり、現在一時申請を含め20名(年間登録は14名)の児童が利用しているが、一人親家庭の利用料減額もあり、事業費が不足している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	来年度以降、予算の増額により、事業の充実を図りたい。以前より、アルミ缶収集を実施して、収入金を事業費に充てている。